

近畿の暴れ梅雨

浸水、停電 通勤びしよぬれ

近畿地方は十日朝、梅雨前線の活動が活発化。雷を伴う強い雨が局地的に降り、一部で列車の遅れも出て、各駅でサラリーマンが立ち往生。カサも役に立たぬほどの激しい降りに、びしよぬれになって出勤した。地域によっては家屋浸水、道路冠水、落雷による停電などの被害も出たほ

か、京都府内では、小、中学校などが休校となり、電通も一部乱れた。大阪府気象台によると、雨は近畿北部を中心に十日午前零時から正午までに、京都一六〇ミリ、神戸一七〇ミリ、根四〇〇ミリ、神戸一三〇〇ミリ、一四〇〇ミリと観測された。梅雨明けにはまだ時間がかかりそ

二〇一五〇。中部で七〇一〇〇が見込まれ、京都府、滋賀県では大雨洪水警報、雷雨注意報、大阪府、兵庫県には大雨洪水雷雨注意報が出された。あちこちで雷鳴も響いたが、列島上にとっか

島根では山陰線が不通

山陰線では十日午前三時五十分ごろ、京都府綾部市宮原の山家駅構内の信号機室に落雷があり、綾部―山家間の信号操作ができなくなった。このため福知山発京都行き普通列車が綾部駅に立ち往生、同七時半ごろ復旧した。

この落雷と雨の影響で正午までに普通上り二本が遅れ、特急、急行、普通計二十本が三時間半―十分遅れ、約一万五千人の足が乱れた。

さらに同四時五十分ごろ、島根県隠岐郡温泉津(ゆのつ)町の馬路―湯里間の道床(線路下の盛り土)が長さ二十メートルわたって流失しているのを

雨ついて銚建て祭

祇園祭のクライマックス・山鉦(やまかね)巡行を控えた十日午前、京都市下京区の四条烏丸や四条奎町かいわいの、銚の辻で銚を組み銚建てが始まり、京の町は祇園祭のムードが一気に高まった。

昨年、銚建て中に中心橋の

真木(しんぎ)が倒れる事故があった長刀(ながなた)銚の町会所では、同市北区中川北山町、林業、清水啓夫さん(三)から寄贈された八十年ものヒノキ製の真木が運び込まれ、午前十時半からおはらいの後、手伝い方と呼ばれるト

ヒ職らが縄とわらでつくった厄よけの「しゃくま」を真木に取り付けた。表の通りではあ

いにくの雨の中、大工さんらが荒縄と木うちだけの伝統工法でやぐらを組んでいた。

函谷(かんど)銚、鶏銚、菊水銚、月銚の四基の銚建てもこの日から始まり、十四日までに三十二基の山鉦すべてが組み上がる。



激しい雨に、出勤するサラリーマンはズブぬれ―大阪市北区の大阪マルビル前で10日午前8時55分

係員が発見、同区間が不通になった。このため各列車は現場付近で折り返し運転し、同

十時四十分には復旧。特急など十本が遅れ、ダイヤの乱れが夕方まで続いた。

一時的な浸水被害も各所で相次いだ。

午前八時四十分ごろ、大阪

の町、枚方市奈谷など北摂、北河内一帯で床下浸水、道路冠水が出た。

一方、午前九時二十分ごろ、茨木市玉島地区で落雷のため付近の民家約五百戸が停電、午前十時に復旧した。

名神高速道路は、豊中周辺などで午前七時半ごろから約二時間にわたり、時速五十キロの速度規制を実施。上り線が大阪、京都府境の天王山トンネルを先頭に最高六、波

瀬。阪神高速道路も通勤時間帯と雨が重なり、堺、空港、帯と雨が重なり、堺、空港、松原線などの大阪市内行きで八、十の車の列が続いた。

通学の足にも影響が出、京都府教委のまとめでは、宇治市立の二小、小學校、九中學校、八幼稚園が大雨で休校園するなど同府内で幼稚園二十三小學校六十二中學校二十八高學校三三養護學校など六校が休校。小學校二高學校十三校で十分から一時間始業が遅れた。

大暴れ局地豪雨

落雷で7万戸停電

浸水続出 山陰線は一時不通

西日本各地は十日朝、梅雨前線の活動が激まり、激しい雨が降った。雷を伴う豪雨になったところも多く、都市部ではマンホールやみどりが雨水があふれ、床下浸水や道路の冠水が続出、約七万戸が停電するなど各地で被害が出た。滋賀県下の名神高速道路で乗用車など七台がスリップで衝突し、湯根峠下の国鉄山陰線で道床が流されて不通になるなど、各地で被害が相次いだ。大阪管区気象台は同日早朝、京都府と兵庫北部、滋賀県に大雨、洪水警報を出したが、警報は午前中に解除された。

午前四時五十分ごろ、湯根峠で、落雷で、滋賀県内で七千戸、兵庫で三千三百戸、京都で千八百戸が停電二時間停電するなど、近畿一円で約一万余戸が被害を受けた。

このほか、岡山県内で三万七千戸、広島県で約一万五千戸、香川県内で約三千戸が一分間から最高二時間停電した。

高槻市登町の府道下田部団地(三十七棟千四百八十戸)では、近くの送電線に落雷し、団地の湯水ポンプが動かなくなり、午前十時すぎから約二時間半断水した。

京都市内で七十六戸、大津市内で十三戸が床下浸水したほか、豊中市内でもマンホールが逆流して水が床下浸水。茨木市の阪急総持寺駅近くのガード下が最悪二層、守口の京阪本線ガード下で五〇戸それぞれ冠水、道路が一時通行止めになった。

午前四時五十分ごろ、湯根峠で、落雷で、滋賀県内で七千戸、兵庫で三千三百戸、京都で千八百戸が停電二時間停電するなど、近畿一円で約一万余戸が被害を受けた。



土砂降りの雨。足元を気にしながら出勤する〇七や一目散に駆けるセブリーマンも
11日午前8時30分、大阪市北区の大阪駅東口で

大雨朝の足乱れる

道路冠水 相次ぐ

十日朝、近畿地方は朝から雷一降った。鳴かぬとき、時折激しい雨が、大阪管区気象台の観測による一に停滯、前線付近に局地的な積



集中豪雨で道路も冠水(茨木市総持寺駅前町で)

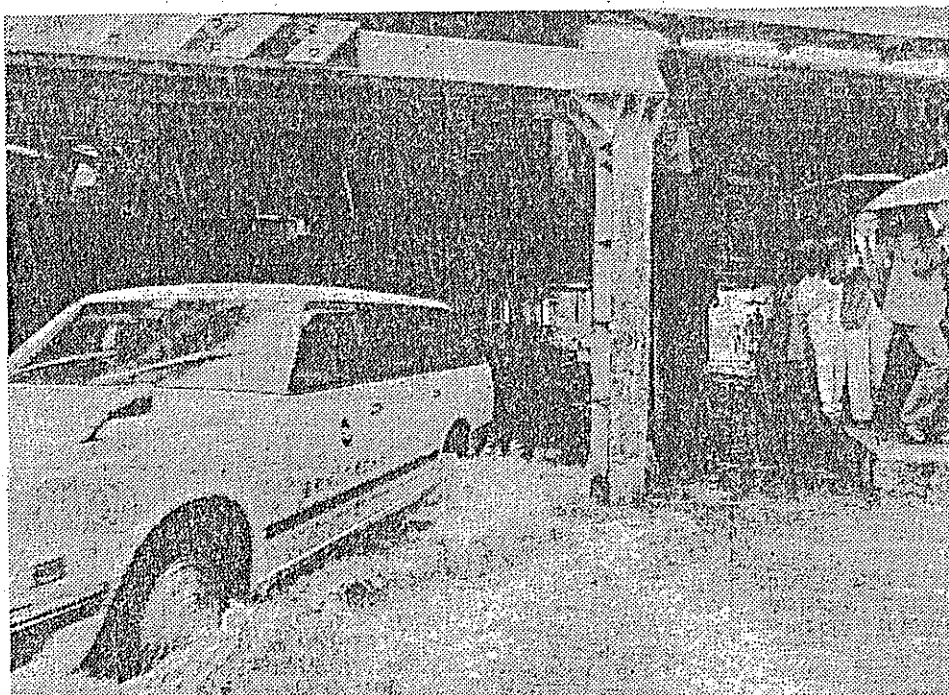
乱雲が発生したため、雷を伴った強い雨となった。降り始めから午前十一時までの雨量は滋賀・大津で二四ミリ、京都で二六ミリ、大阪は一七ミリだが、梅雨前線の南下で今後雨量も増える見込み。同気象台は大雨降水注意報を出し警報を呼びかけている。十日夜にかけて雨風は近畿北部で〇〇―一五〇ミリ、中・南部で七〇―一〇〇ミリに達する恐れがある。

大雨のため十日朝、大阪府内では道路への冠水が相次いだ。同日午前八時四十分ごろ、大阪府茨木市総持寺駅前町の市道が、長さ約二百メートルにわたって冠水、同道は一時、通行止めになった。この冠水で三戸が床下浸水。

同日午前九時すぎ、守口市滝井の内環状線京阪ガード下でも道路が冠水。同線は午前九時四十五分まで通行止めとなったが、まもなく水は引いた。

また名神高速道路上り線、阪神高速道路大阪市内行きが各所で六、七から十、の渋滞となった。

梅雨前線大暴れ。ゲリラ豪雨で道路も川のようになった—午前9時30分、大阪市淀川区中津で



ゲリラ豪雨被害続出

浸水、休校、団地に落雷

近畿

十日の近畿地方は梅雨前線前線上に高さ一万以上の強い積乱雲が発生、雷を伴ったゲリラ豪雨に見舞われた。とくに京都、大津などは一〇時を超える大雨となり、浸水の被害が相次いだほか、国鉄山陰線も落雷と土砂崩れのため一時不通になった。近畿ではなお数日、梅雨末期特有の不安定な天気が続き、断続的に強い雨の恐れがあるという。

大阪管区気象台の観測によると、この朝、南海上に停滞していた梅雨前線がやや北上日本海にある高気圧の冷たい空気に、南から吹き込む暖かい湿った空気がちよと京阪神付近でぶつかる形になり、

前線上に高さ一万以上の強い積乱雲が発生した。雨は近畿中部で強く降り、とくに京都では午前一時から二時までの一時間に四五ミリ、同八時—九時で二二ミリなど、雨量は正午までに二二六ミリに達した。このほか大津で一一四ミリ、大阪・箕面六七、▽岡・枚方五三、▽岡・豊中三五、▽奈良二八、▽大阪一七、などを記録。同気象台は京都府南部と滋賀県に大雨洪水警報、残る近畿各地に同注警報を発令した。

また、同日午前三時五十分ごろ、京都府綾部市上原町の国鉄山陰線山家駅構内にある継電器室に落雷があり、同機が故障。東京発出急行の回線が故障。東京発出急行

山陰線で不通

航空の便欠航相づく

十日午前四時五十分ごろ、鳥根県瀬野郡湯津町の国鉄山陰線湯津—湯里間で、二十分にわたって線路の道床が流失、米子発小郡行き下り特急「おき」号が全面遅れた。

また、同日午前三時五十分ごろ、京都府綾部市上原町の国鉄山陰線山家駅構内にある継電器室に落雷があり、同機が故障。東京発出急行の回線が故障。東京発出急行

太知の商事

車が船岡駅で二時間四十五分遅れたのを機に、特急、急行など計十五本が二時間四十

メーカーが焼け、岡団地の千四百八十戸が正午すぎまで断水した。また、京都でも八十戸が床下浸水したのをはじめ、宇治市で幼稚園八園、小学校二十二校、中学校九校がすべて休校。城陽市でも全校が休校になるなど、府内で幼稚園二十三園、小学校六十三校、中学校二十六校、高校三校(計六万七千人)が休校した。

行幸特急「出雲」と後続の普通列車一本が四十分遅れた。このほか大雨のため京都—綾部間の普通上下二本が遅れ、福知山発京都行き普通列車、福知山発京都行き普通列車「おき」号が全面遅れた。また、同日午前三時五十分ごろ、京都府綾部市上原町の国鉄山陰線山家駅構内にある継電器室に落雷があり、同機が故障。東京発出急行の回線が故障。東京発出急行